

|| 企業調査レポート ||

カイカ

2315 東証 JASDAQ

[企業情報はこちら >>>](#)

2019 年 7 月 4 日 (木)

執筆：フィスコアナリスト

FISCO Ltd. Analyst



FISCO Ltd.

<http://www.fisco.co.jp>

■ フィスコグループとの連携強化で 仮想通貨分野への取り組みを加速化

カイカ <2315> は、金融業界向けシステム開発を主力とした情報サービス事業、仮想通貨関連事業が中心だが、e ワラント証券などを買収したことで、2018年10月期より、金融商品取引事業も3本目の柱として展開している。2015年6月にフィスコ <3807> の子会社であるネクスグループ <6632> が資本参加、これを契機に、経営体質の改善が図れたほか、ブロックチェーン・仮想通貨分野へ事業の舵を取るようになる。現在はネクスグループの持分法適用会社から外れたが、フィスコグループとの業務提携は継続しており、協調展開を行っている。

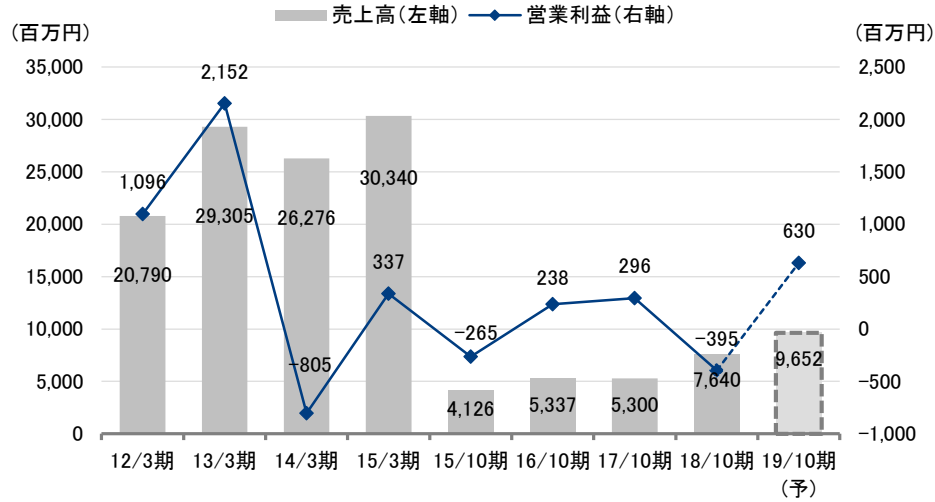
仮想通貨関連事業では、戦略子会社である CCCT が仮想通貨交換所システムを自社パッケージ製品として開発、仮想通貨交換業者、みなし仮想通貨交換業者、新規参入意向のある企業、グローバル市場も視野に営業を展開中である。システム利用料型の新しい収益、保守・運用による安定収益といった新たな収益の獲得を目指している。2018年12月、仮想通貨交換所「Zaif」や「フィスコ仮想通貨取引所」を有するフィスコデジタルアセットグループと資本・業務提携を行い、持分法適用関連会社化した。仮想通貨取引に関するシステムの共同マーケティング、ソフトウェアなどの共同開発や共同研究、人材の相互交流などを行っていく。また、同社では同グループの事業にかかるとシステム開発を今後も一手に担っていく。2019年4月には、法人向け学習管理システムや育成型人材紹介事業を手掛けるアスタディ <2345> を子会社化。これに伴い、HRテクノロジー事業を新セグメントに追加している。

2019年10月期第2四半期（18年11月-19年4月）業績は、売上高が3,910百万円で前年同期比15.1%増、営業損失が298百万円で同43百万円の収益改善、経常損失が458百万円で同1,061百万円の収益悪化、四半期純損失が476百万円で同783百万円の収益悪化となった。前期に子会社化したeワラント3社の売上がフル寄与（前年同期は1カ月分計上）したほか、ネクス・ソリューションズにおける既存の大手Sier向け開発案件が堅調であったこと、連結子会社CCCTの仮想通貨運用損失額計上が減少したことで売上高は大幅増収となる。金融商品取引事業における業務拡大をにらんだ費用の増加、市場心理の悪化によるeワラント取引の低迷で営業損失となったが、損失幅は前年同期から縮小した。ちなみに、主力の情報サービス事業は増収増益を達成している。経常損益、四半期純損益の前年同期比悪化は、営業外における仮想通貨売却益の計上一巡、持分法投資損失の悪化などが背景。2019年10月期通期業績は従来計画を据え置いており、売上高が9,652百万円で前期比26.3%増、営業損益が630百万円の黒字で同1,025百万円の損益改善、経常利益が657百万円で同7.2%増、当期純利益が531百万円で同16.0%減の見通し。なお、アスタディ子会社化による影響は現時点で考慮していない。

当レポートはIRを目的に作成されました。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読みください。
 Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

業績推移



出所：決算短信よりフィスコ作成

当レポートは IR を目的に作成されました。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

免責事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山五丁目4番30号
CoSTUME NATIONAL Aoyama Complex 2F
株式会社フィスコ
電話：03-5774-2443（情報配信部）
メールアドレス：support@fisco.co.jp